

国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 歴史学

3年生 ハヤシ サヤカ 林 沙也加さん



私は、修士課程より自分の研究テーマを追求したいと思い博士課程に進みました。現在、日本中世史を専攻し、尾張国丹羽郡に焦点を当てて、織田氏の動向を探っています。私は、将来の目標を叶えるために次世代プログラムに参加しました。

次世代プログラムでは、他分野の院生の研究や講師の方々の貴重な話を聞く良い機会になりました。特に印象的だった活動はワークショップです。ワークショップでは、テーマに対して他分野ではどのようにアプローチできるかを知る良い機会となり、次世代プログラムで得た他分野への関心や大学院で得たノウハウを自分自身の目標に活用できれば良いと思いました。博士課程では、修士課程よりも時間をかけて自分自身の研究を追求できる上に、より多くの貴重な経験を積むことが可能です。また、次世代プログラムは社会で活躍する講師の方々の貴重な話を聞く機会が得られる上、他分野の院生との交流ができる場にもなっています。興味・関心がある人は是非博士課程に挑戦してみてください。

林沙也加さんの研究は、戦国期に岩倉を拠点とした織田伊勢守家の動向に注目し、その地域支配のあり様を考察するものです。特に犬山城の果たした歴史的意義を捉え直しており、観光資源やまちづくりの提起も試みる予定です。



ミズノ トモユキ
指導教員 水野 智之教授